

教育委員会定例会会議録

1 日時

令和7年4月17日（木）
開会 9時30分
閉会 10時08分

2 場所

教育委員室

3 出席者及び欠席委員の氏名

出席	福永和伸教育長、大森達也委員、富樫健二委員、安田悦子委員、横山史子委員
欠席	なし

4 事務局職員

副教育長 大屋慎一	
次長（教職員担当）福井崇司	
次長（学校教育担当）早田清宏	
次長（育成支援・社会教育担当）坂井哲	
次長（研修担当）小濱偉	
教育総務課	課長 大坪恵子、班長兼企画員 立木雄真
高校教育課	課長 山北正也、班長 岡智之、係長（充指導主事）脇本慎太郎
小中学校教育課	課長 尾上修一、係長（充指導主事）浅井祐治、主任 渡辺祥啓
特別支援教育課	課長 岡田恭子、充指導主事 佐々木優
社会教育・文化財 保護課	課長 松本真人、課長補佐兼班長 酒井紀夫、主幹兼係長 中須敏行 主幹兼社会教育主事 早川宜成
環境生活部文化 振興課	課長 清水友絵

5 議案件名及び採択の結果

	件名	審議結果
議案第1号	令和7年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について	原案可決
議案第2号	三重県社会教育委員の辞任及び委嘱について	原案可決
議案第3号	三重県総合博物館協議会委員の任免について	原案可決

6 報告題件名

	件 名
報告 1	令和 7 年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について
報告 2	令和 7 年度県立みえ四葉ヶ咲中学校について

7 審議の概要

・開会宣言

福永和伸教育長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

5 名中 5 名の出席により会議が成立したことを確認する。

・前回審議事項（3 月 2 4 日開催）の審議結果の確認

前回定例会の審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・議事録署名者の指名

大森委員を指名し、指名を了承する。

・会議の公開・非公開の別

福永教育長が各委員に諮り、議案第 1 号から議案第 3 号については人事案件のため、非公開にて審議を行うこととした。

・報告事項	
報告 1	令和 7 年度三重県立高等学校等入学者選抜及び三重県立特別支援学校入学者選考の概要について（公開）
審議の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高校教育課長が令和 7 年度三重県立高等学校等入学者選抜の概要について、岡田特別支援教育課長が令和 7 年度三重県立特別支援学校入学者選考の概要について報告。 ・ 教育長が各委員に諮り、了承された。
各委員からの主な質疑	<p>（大森委員）</p> <p>連携型中高一貫教育に関わる選抜について、飯南高校の高等学校活性化協議会の議題にもなっていると思うが、25年近くこの制度を運用してきた中学校としては 2 つに減ってきている。15 名というのは 2 つの中学校のう</p>

ちのどれぐらいの割合なのか。比率として下がっているのか、維持できているのか。

(高校教育課長)

この数年を見ると連携型中学校から送り出されてくる人数を見ると大きな減少はなく、一定の比率で送り出している。長い目で見ると、少しずつ減少している。

(大森委員)

連携型中高一貫教育は三重県で唯一の学校となってしまったので、どう生かしていくのかは今後の議論でも必要と感じている。

(富樫委員)

高校無償化の影響をふまえて募集人員を減らしている結果なのか。また、考慮したうえでの結果であれば、どのような影響が考えられるのか。

(副教育長)

募集総数の設定は6月であり、高校無償化議論の前になるため反映はしていない。今回志願倍率は1.10倍であり昨年に比べて0.2ポイント上がった理由として、ある程度募集定員を絞ったのと公立の人気が高い状況で推移したものと考えている。三重県として今のところ大きな影響はないと考えている。

(教育長)

特別支援学校について昨年に比べ2割ぐらい増えている。増えた要因はどう考えているのか。また、どこが増えているのか。

(特別支援教育課長)

増えた要因について、詳細な分析には至っていないが、保護者による特別支援教育に対する理解や専門的な教育を受けることへの高まりにより、通学することへのハードルが下がってきていることが大きな要因と考えている。学校で見ると、知的障がいのある学校、稲葉特別支援学校、松阪あゆみ特別支援学校、伊賀つばさ学園で増えてきている。

(教育長)

最近是全国的に見ても高止まりしている状況の中で、三重県はなぜ増えてきているのか何かあれば教えてほしい。

(高校教育課長)

先ほど質問があった連携型中学校の人数だが、令和7年度15名、令和6年度は11名で同規模で推移している。

(大森委員)

2つの中学校の卒業者に占める進学者の割合はどうか。

(高校教育課長)

	<p>確認する。 (大森委員)</p> <p>特別支援に通う生徒の増加について、三重県の場合は乳児の健診制度の中でスクリーニングをかけている。そういった制度の影響もあるのではないか。</p> <p>(特別支援教育課長)</p> <p>乳幼児健診と関連付けた分析は現時点でしていないが、小中学生の入学生も増えているので関連性も含めて分析していきたい。</p>
--	---

・報告事項	
報告 2	令和 7 年度県立みえ四葉ヶ咲中学校について (公開)
審議の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校教育課長が令和 7 年度県立みえ四葉ヶ咲中学校について報告。 ・教育長が各委員に諮り、了承された。
各委員からの主な質疑	<p>(富樫委員)</p> <p>入学生に 2 年生、3 年生がいるということは、そこまでの課程を修めているということなのか。</p> <p>(小中学校教育課長)</p> <p>学びの多様化学校については、現役の中学生なので相当の学年に入っている。夜間中学については、各個人の申告によって希望する学年に入っている。</p> <p>(安田委員)</p> <p>生徒代表のあいさつの中で、オンラインで参加との話もあったが、オンライン参加は登校という扱いになるのか。</p> <p>(小中学校教育課長)</p> <p>仕事や体調不良等、臨時的な措置として認めているが、継続してオンライン授業というやり方は認めていない。</p> <p>(安田委員)</p> <p>いろんな市町から来ているが、基本は通学することになるのか。</p> <p>(小中学校教育課長)</p> <p>現時点は登校しながら学習となるが、状況も見ながらオンラインを活用したいとの声もあると思う。</p> <p>(教育長)</p> <p>オンラインと登校の比率や制限はないのか。</p> <p>(学校教育担当次長)</p> <p>学びの多様化学校の方は比率の制限はなくオンラインの場合も出席扱いになり評価の対象にもなる。夜間中学の方は、文科省は原則対面を重視</p>

	<p>したいと考えている。ただ、体調や仕事の都合がある場合はオンラインも可能という扱いであり、比率は県の判断となっている。</p> <p>(大森委員)</p> <p>その関係で学びの多様化学校で鳥羽市や御浜町の人がいるということか。</p> <p>(小中学校教育課長)</p> <p>御浜町の方は親族が津市にいてということで居住地を変えて通学すると聞いている。</p> <p>(大森委員)</p> <p>大学では、オンラインでの出席は面接式で全15回のうち7回までは良いとしているが、そのような縛りもないのか。</p> <p>(学校教育担当次長)</p> <p>原則対面と言われているので全部オンラインでは難しいが、何割何回という基準はしめされていない。</p>
--	---

・審議事項	
議案第1号	令和7年度三重県教科用図書選定審議会委員の任命について（非公開）
・非公開により審議されたため、三重県教育委員会会議規則第十三条二項の規定により会議録は別途作成	

・審議事項	
議案第2号	三重県社会教育委員の辞任及び委嘱について（非公開）
・非公開により審議されたため、三重県教育委員会会議規則第十三条二項の規定により会議録は別途作成	

・審議事項	
議案第3号	三重県総合博物館協議会委員の任免について（非公開）
・非公開により審議されたため、三重県教育委員会会議規則第十三条二項の規定により会議録は別途作成	

・閉会宣言